



Hong-Lay Wong

「即時荷重」についてのコンセンサス会議…単独歯及び部分欠損症例について」の結果における10件の質疑応答から、即時荷重を行うにあたって臨床家が注意すべき点のガイドラインが導かれている。

1、即時荷重の定義とは

◎即時荷重とはインプラント埋入後48時間以内にインプラントに咬合圧がかけられることと定義される

2、即時荷重されたインプラントの生存率は

◎2年以内の臨床結果によると、非常に高い生存率を示した

3、単独歯の即時荷重に対し、埋入位置によってインプラントの生存率は異なるか

◎上顎、下顎ともに小白歯は高い生存率を示した

◎切歯及び臼歯は、インプラント即時荷重に向くとは言えないが、即時非咬合荷重に対しては提唱される

このように即時荷重についてはまだまだ

だ長期的な予後が判断しにくいので、私は十分な注意と総合的な判断・診断が必要と考えます。

Len Tostounouによる「デンタルインプラントの失敗と成功の分析…インプラントのもろさの概念」において、

・早期失敗（インプラント埋入、初期荷重、1年以内のもの）

・晩期失敗（補綴物装着後に発生する予後不良）

について分けて原因を述べている。

早期失敗

1、劣悪な質（骨…タイプ4、上顎臼歯部骨、放射線治療を受けた骨等）、骨量（重度の歯槽骨吸収）や劣悪な軟組織（角化歯肉不足）

2、患者の健康状態…免疫システムがそこなわれた状態（放置された糖尿病、後天性免疫欠損症）、進行した骨粗鬆症、ステロイド治療、顎の転移性痛、代謝、内分泌の状態、骨の代謝に影響を及ぼす薬の服用、コラーゲンの不調、精神病等

3、患者の悪癖…ブラキシズム、ヘビースモーカー、口腔内の不衛生、プラークの蓄積等

4、不適切な手術分析及びテクニク…

最適状態に及ばない埋入術及び初期のインプラントの安定性不足、劣悪なインプラントポジション等

5、不適切な補綴の分析及びテクニク…不適切な補綴物の選択、最適ではない補綴デザイン及び補綴の咬合計画過重、不適切な技工等

6、最適ではないインプラントデザイン及び表面特性

7、不明の要因

晩期失敗

1、咬合…オーバーロード、過大なストレス

A…過大な力

B…不良な咬合様式

C…ブラキシズムを主訴としていてコントロール、治療できていないもの

2、インプラント周囲炎と不衛生的な口腔状態

A…口腔衛生に関する知識のなさ、協力的でない患者

B…障害があり、うまく口腔衛生を保つ事ができない患者

C…補綴物の形態によって、口腔衛生がうまくできない患者

D…歯科医の不適切な口腔衛生指導によるもの

3、補綴物形態、構築、適合性が不足しているもの

A…技工サイドにてのインプラントコンポーネントを作製する時におこる修復不足などの不良補綴物

B…インプラントコンポーネントの欠損（铸造不良など）があるもの

C…インプラントコンポーネントの疲労、スクリューのゆるみ、スクリューの破損

4、不明の要因

以上のことから、インプラントをした患者には長期的な保障を行うべきではないことも示されると述べている。私もやはり、長年インプラント治療を行ってきたとすると、予期せぬことが多少ならずとも起こりうる。私は常にインプラントを行う患者には、インプラントを「車」に例えている。「どんな高い車でもきれいにしていなければならないし、定期点検を受けなければ、長持ちしない」と言っている。しかし、実際患者のリコール率が高いとは言えない。リコールを確実にする事によって、長期的な予後が予想できるし、失敗もふせげると考える。また、現在の業者主体のインプラント埋入実習にも問題があると考えられる。やはり、早期の失敗の最大原因は、技術不足であると思う。日頃の技術習得に努力することが必要であると考えられる。

Consensus Conference on Immediate Loading :The Single Tooth and Partial Edentulous Areas

即時荷重についてのコンセンサス：単独歯と部分無歯部

1 Q:即時荷重の定義とは？
A:即時荷重とは、インプラント埋入後48時間以内にインプラントに咬合圧がかけられることと定義される

2 Q:即時荷重されたインプラントの生存率は？
A:2年以内の臨床結果によると、非常に高い成功率を示した

3 Q:単独歯の即時荷重に対し、埋入位置によってインプラントの生存率は異なるか？
A:①上顎・下顎ともに小白歯は高い成功率を示した。
②切歯及び臼歯はインプラント即時荷重に向くとは言えないが、即時非咬合荷重に対しては提唱される。

4 Q:即時荷重が可能か否かを決定する主な要因は？
A:①埋入トルクがインプラントの初期固定を検知する基準として使用され（通常アパットメントトルクは10Ncmは30Ncmであるが、インプラントのデザインによってトルク値は異なる。他の方法としてリパーストルク等がある。）即時荷重が可能か否かを決定する主な要因となる。しかし更なる検証が必要である。
②初期固定の得られない、骨造成が必要とされる部位では、インプラントの初期固定は安定するが、即時荷重を試みる際は、注意が必要である。

5 Q:即時荷重に適するインプラントの長さとは？
A:10mm以上である。

6 Q:即時荷重に適したインプラントのデザインは？
A:チーパースクリューのようなスレッドデザインのインプラント

7 Q:即時荷重に適したインプラントの直径は？
A:現在は、最低でも3.5mmの直径が必要とされているようである。より小さい直径のインプラントが即時荷重可否を実証するには今後のデータの検証が必要である。

8 Q:即時荷重に適したインプラントの表面は？
A:粗面のチタンインプラントが適している

9 Q:どのタイプの咬合が必要か？
A:フルクロージャーで側方圧無しで非咬合コンタクト（最低咬合間コンタクト）が必要

10 Q:単独歯インプラント即時荷重が推奨できない状況とは？
A:①過度の咬合（ブラキシズム、非機能性咬合）
②初期インプラントの安定不足（欠乏な骨質：D4）
③短かすぎる表面
④プレスフィットインプラント（シンジガー）
⑤クラウンインプラントのアンバランス（1:1未満）
⑥口腔内の不衛生

最近の国内発刊書より

東京形成歯科学研究会会員 山梨宣 開業 相澤 八大



1、究極のインプラント審美（クインテッセンス出版） 榎本紘昭著

本書は様々なインプラント補綴に対する審美的なアプローチについて解説している。特に第5章のブラットフォームス イッチングを応用したリカバリー症例において、中長期的に唇側歯肉歯頸線が歯冠形態との調和を保ちながら安定した位置で維持されるには、インプラント頂部から唇側の歯肉の高さに比べより大きな、幅（厚み）が必要であるとの概念からブラットフォームス イッチングという概念が生まれたが、インプラントと接合するアパットメントの基底部を形態修正すること、ブラットフォームよりも舌側に位置させ、唇側の歯肉幅を厚く確保することで解決を図る方法を解説している。具体的には唇側のアパットメント接合部を舌側に移動させたプロビジョナルアパットメントにて粘膜の調整後、カスタマイズさせたアパットメントにて審美性を回復している。審美性が要求される上顎前歯部において有効なりカバリー法と思われた。

3、単独植立インプラントの埋入トルク値と生存率の関係（デンタルインプラントロジー） 06年No.2

広島大学補綴学研究室における研究であり、JOMIにおいて掲載されたものがある。フィクスチャー埋入後24時間以内に即時加重をしたものと、治療期間を経た後に加重させたものを共に最低トルク20 N cm以上の初期固定をプロトコルとして埋入したものを比較した。インプラントのサンプル数が46本と少なく、オッセオインテグレーションのサクセスレートが低い点が気になるものの、20 N cmのトルクによる埋入では不十分であり、統計上32 N cm以上が必要であると結論付けられている。インプラントの構造やインプラントの長さ・直径、埋入部位、骨質および骨量など様々な要因によって左右されるのは既知のことであるが、適切な初期固定埋入トルクが得られた場合にのみ、即時暫間被覆冠による早期負荷が重要であることは臨床家である我々は周知の事であり、メーカー指定の最低トルク値が明確なエビデンスに基づいたものではなく、本研究は一つの指標になると思われた。

2、予知性の高いトランジショナルインプラントの臨床応用（デンタルインプラントロジー） 07年No.2

インプラントが社会において認知されるにつれ、フィクスチャー埋入後の免荷期間中の摂食制限、審美障害が問題となってきた。その改善方法の一つとしてトランジショナルインプラントが近年盛んになっているがその利点欠点について様々な文献を元に解説している。利点は、①免荷期間中および骨造成中の咬合支持、②免荷期間中および骨造成中の審美性の回復、③免荷中および骨造成中の暫

年に1度は海外へ参加を致しましょう

- ① World Congress in San Francisco
- ② AAID in Las Vegas
- ③ ICOI/APS インド

ALL JAPAN ICOI 海外研修案

ICOI世界大会 in San Francisco
ICOI WORLD CONGRESS XXV & 10TH ANNUAL
IMPLANT PROSTHODONTIC SYMPOSIUM

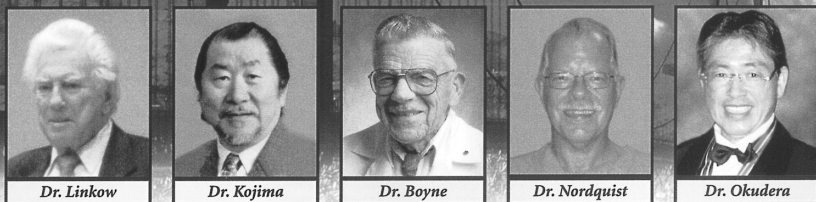
San Francisco
CALIFORNIA

【旅行日程】
8月22日出発～8月27日帰国

世界最大の組織を持つインプラント専門医の学術大会が米国西海岸サンフランシスコで開催されます。多彩な講師陣とインプラント最新規模の展示が行われます。ICOI認定医修得のチャンスです。

「日本人向特別企画」

最強のベテランが最新技術を用いてあらゆる難症例患者に対応するインプラント臨床を提示します。



Dr. Linkow

Dr. Kojima

Dr. Boyne

Dr. Nordquist

Dr. Okudera

LAS VEGAS



Excellence through
Evidence-Based
Implant Dentistry

【旅行日程】
11月7日～11月11日
Rio SUITES Hotel
Las Vegas, Nevada



11th Congress of the ICOI Asia Pacific Section
Myths & Realities in Implant Dentistry

MUMBAI 【旅行日程】 Hotel Accommodation
11月29日～12月2日 Mumbai, India

旅行とICOI国際インプラント学会認定医の
お問い合わせは

ALL JAPAN ICOI事務局

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2
e-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp
TEL: 03-3919-5111 FAX: 03-3919-5114

長年の懸案でありました、私の友人でICOI次期理事長と噂されているDr. Carl Mischの訳本が発版されました。多くのICOIディプロメイトの先生方が携わっております。内容的にはインプラント学の集大成で、昨今珍しいボリュームがあり、大作です。是非、先生のお手元に一冊、インプラント学の聖書として保管して頂ければと思います。

発売は、書店でも求められますが、私共のオクデラメディカルでも販売しております。ご希望の方は、当事務局迄ご連絡下さい。

『Carl E Mischのインプラント補綴』

■税込：17,850円



コーディネーター
Dr. 奥寺 元

東京形成歯科研修会 オープン講演会

海外講師招聘

パワフルに先駆的活躍をする

効果的研修で

先取りを!!

東京形成・ICOIグループ共同開催の

オープン講演会です。



2007年

11月25日(日)

DR. CHARLES BABBUH

顔面再構成にかかわる骨再生と
口腔インプラント

2007年

12月9日(日)

DR. WILLIAM NORDQUIST

最後の選択肢としての口腔インプラント



場 所/オクデラインプラントセンター OPE室および講義室
日本口腔インプラント学会認定施設・厚生労働省指定歯科研修施設
参加費/一般:1日…3万 2日…5万 ICOI会員:1日…2万 2日…3万5千

お問い合わせ: オクデラインプラントセンター

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2 TEL: 03-3919-5111
E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp FAX: 03-3919-5114

お振込先: みずほ銀行 王子支店 (普) 1110026
オールジャパン・アイシーオーアイ オクデラハジメ

多彩な講師群の研修会

日本の専門医取得の近道へ呼び掛けをお願いします。

008年度

社団法人日本口腔インプラント学会 認証医申請用教育講座

～ 多彩な講師陣と施設指導医による親身な指導 ～

社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研修会会長、ICOI会長: 奥寺 元



＜ 講義と実習内容 ＞

形成歯科研修会は創立25周年を迎え、インプラント学を主体に先端学問の追求を行っております。長い歴史の中で口腔インプラント学会への研究発表が多く、その業績は歯科学の発展に一石を投じており、その研究の中から多彩な人脈や国際的交流を取ることができました。その実績と共に社団法人日本口腔インプラント学会認証医研修コースを企画しております。一味違う内容により、もとより、各方面の情報と人脈を構築できます。参加することにより今までの環境を脱却し、真のインプラントジストを目指し、御参加をお待ちしております。

【開催場所】

オクデラインプラントセンター(王子歯科内)

【定員】

20名

【参加費】

80万円 <分割可>

【予定講師】

高 戸 毅	東京大学医学部付属病院口腔外科教授	●再生医療によるアンチエイジング
和 泉 雄一	東京医科歯科大学教授	●歯周とインプラント歯周病の発生メカニズム
※懸 田 利孝	歯槽膿瘍研究所所長	●インプラント臨床の概論と歴史
※小 嶋 榮一	元日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部長	●Custom Endosteal Implant・温故知新の実技
春日井 昇平	東京医科歯科大学教授	●インプラントと薬物応用・顎骨再生学
※高 橋 常男	神奈川歯科大学教授	●臨床解剖学講義と実技
田 口 明	広島大学助教授・神奈川歯科大学客員教授	●顎骨内X-Ray診断学
※星 野 清興	ユニバーサル研究所所長	●インプラント臨床実技と外科実技
※五十嵐 俊男	顔面口腔外科	●全身管理とインプラント咬合
※梨 本 正憲	臨床総合センター所長	●インプラント臨床の実技
※奥 寺 元	前東京医科歯科大学臨床助教授 神奈川歯科大学客員教授	●最先端技術に応用した拡大する インプラント治療について
木 本 一成	神奈川歯科大学講師	●論文の書き方・統計学をどう読むか
今 井 裕	獨協医科大学医学部口腔外科教授	●口腔外科基本的歯技
※市 川 哲雄	徳島大学教授	●インプラント補綴学

※は社団法人日本口腔インプラント学会の指導医です。

○東京形成歯科研修会では会費を募集しております。入会しますとICOI会員となり、ICOI国際インプラント学会の認証医の取得が可能です。
○当研究会指導医3名(小嶋 榮一・奥寺 元・高橋 常男)
○当研究会認証医13名(齋藤 昌寿・朝日 啓司・飯田 淳一・井畑 秀久・木村 博光・古谷田 泰夫・原田 庸平・鈴木 富士雄・中島 繁樹・李 徳操・柳 時悦・堀谷 和則・島村 敏明)

2008年		7. 10月19日(日)	2009年
1. 4月20日(日)	4. 7月20日(日)	8. 11月16日(日)	11. 2月14日(土)
2. 5月18日(日)	5. 8月31日(日)	9. 12月20日(土)	12. 2月15日(日)
3. 6月22日(日)	6. 9月21日(日)	10. 12月21日(日)	

【東京形成歯科研修会認証医研修コース事務局】 王子歯科美容外科クリニック内 担当: 奥寺
〒114-0002 東京都北区王子2-26-2-3F TEL: 03-3919-5111 FAX: 03-3919-5114
E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp 【URL】www.ojidental.gr.jp

盛会裡に終了した 東京形成25周年記念行事

東京形成歯科研究会創立25周年記念式典に参加して

ICOIディプロメイト OZの会 塩路 昌吾



平成19年2月4日(日)、私はマイティスインプラントを使用した「Immediate Implantにおける前歯部の審美への考察」という演題で、東京形成歯科研究会創立25周年記念式典第1部のポスターセッションに参加させて頂き、

名誉あるグランプリを授与頂きました。

振り返ってみるに、東京形成歯科研究会の創立は25年前の昭和57年、中野のサンプラザで結成式が挙行され、少人数ながら元会長の黒山先生を始め、若い先生方の集まりで、活気に溢れた会でありました。その後、徐々に大きな会となる基礎を築いて来た訳ですが、しかし、東京形成歯科研究会の発展は個性豊かな奥寺会長となって一層、強力となりました。その証は何と申しまして、ICOIインターナショナルの会長に就任されたこと、日本はおろか、アジアで初めての事でありました。実力、個性、努力、社会性、国際性が認められたもので、我々も大変、誇らしく思っていました。

今回の25周年記念大会も奥寺先生流らしい、楽しい学会でありました。顔の広さも非常に印象深いものを受けました。川添堯彬理事長、玉置敏夫教授、高橋常男教授、周哲男美容外科会長、高見山大五郎親方等々、大変な顔触れで、話題性においても十二分でした。内容はポスターセッション、シンポジウムは奥寺先生の基調講演、そして教育講演、IMPLANT HEALTH & BEAUTY CONTESTです。此のうちで評価も高く、そしてユニークだったのがBEAUTY CONTESTです。演者

の先生方へのコメンテーターや患者さまから高い評価や感銘の言葉を戴いたことも、現在のインプラント治療の機能、審美面への有効性等、その価値、成果を皆改めて得心し感嘆するものでした。奥寺先生の真骨頂は、やはり全顎的インプラント治療を行った、「ミセス ヘルスグランプリ、85歳、青春を謳歌して」講演で、患者様自身が舞台に登られ、軽いステップを踏まれ、健康で元氣な姿を見せられました。この患者さまが奥寺先生のお母さまと分かり、皆さまから微笑みがもれました。

この様に一般の学会とは少し様相が相違していましたが、歯科医と患者さまが直結して交流するという主旨が良く表現されており、好感の持てる25周年でした。今後の学会の方向性に一石を投げる大会でありました。私自身も参加、勉強させて頂きました。

今年だけの大会とする事は勿体なく、毎年の開催にしては如何ですか、世に問うて発展させましょう、楽しい未来を感じました。

東京形成歯科研究会創立25周年記念式典の懇親会も様々な演出で大変盛り上がりました。今後の、奥寺先生の健康、活躍、東京形成歯科研究会の発展をお祈りします。

IMPLANT HEALTH & BEAUTY CONTEST開催

東京形成歯科研究会
創立25周年記念式典

2月4日、サンシャインプリンスホテル(東京・池袋)で、東京形成歯科研究会(奥寺元会長)の創立25周年記念式典が開催された。
当日は奥寺元会長による基調講演「美容形成歯科への道～インプラント義歯によるアンチエイジングとそのエビデンス」のほか、教育講演として「口腔インプラントエスθηティック臨床」(Dr.M.STEGMANN・DGOI副会長)、「アジアビューティー～Laser Esthetic In Implantology」(Dr.John SH Chen・ICOI/APIS理事)、「世界のCosmetic臨床の現状」(周哲男・国際美容外科学会名誉会長)が行われた。

また、初の試みとして行われた「IMPLANT HEALTH & BEAUTY CONTEST」では、インプラント治療を受け、美しく健康な日々を送る6名の方が紹介され表彰を受けた。コメンテーターの高見山大五郎親方は「歯が悪ければ相撲も強くなれない」とし、ボディビルダーとして数々の優勝経験を持つ歯科技工士の相川氏はデモンストレーションで喝采を浴びた後、「丈夫な歯を食いしばれば強い筋肉は得られない」と述べ歯の大切さを語った。

■「次回はさらに多くの応募を期待」
コンテスト後に開かれた記者会見で奥寺会長

は、「創立25周年を迎え、本会の方向性としては常に患者さんとともに歩み、EBMを踏まえる基本的なスタンスを守ってきたつもりです。派手なイベントの面だけが取り上げられがちですが、閉塞感のある歯科の状況を打開するための一つのきっかけになればと考えました。第1回ということでコンテストへのエントリー数などやや寂しい感はありませんでしたが、同様の企画は諸外国でも取り組む動きがあり、今後についてはすでにアジア圏からのオファーもあることから、次回はさらに多くの参加を期待しています」と今後について豊富に語った。



奥寺元会長による記者会見



高見山大五郎氏もコメンテーターで登場



「丈夫な歯を食いしばれば強い筋肉は得られない」
(月刊デンタルパワー社より)



熱心にポスターセッション



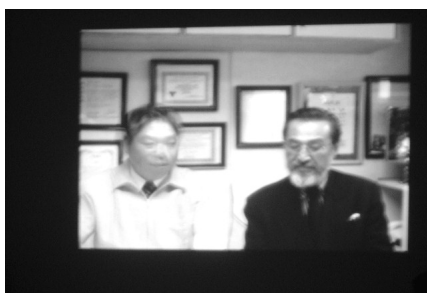
講演会会場風景



Dr. Stegmann の講演



川添理事長より表彰



特別出演の宝田明氏と



インプラントビューティーグランプリ患者と共に



85歳アンチエイジンググランプリ。高見山親方と斉藤教授



楽しかった祝宴



東京形成役員御挨拶